

(様式1)

令和5年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立錦系中学校
校長名	和田 浩二

I 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<p>・1年生→国語全ての観点で全国平均値を超えた。 社会2観点で目標値を超えた。 数学3観点で全国平均値を超えた。 英語全ての領域で全国平均値を超えた。</p> <p>・2年生→国語「書くこと」の領域で目標値と同等だった。</p> <p>・3年生→国語2観点で目標値を超えた。 数学「データの活用」の領域で目標値と同等だった。</p>	<p>・記述問題に対する反応率が低い。</p> <p>※目標値より5ポイント以上下回っている観点の数</p> <p>・1年生→社会1観点</p> <p>・2年生→国語2観点 社会1観点 数学2観点 理科3観点 英語3観点</p> <p>・3年生→国語3観点 社会2観点 数学3観点 理科2観点 英語2観点</p>

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<p>○「学校で学んだことは、将来、社会に出たときに役立つ」の肯定率が全国平均よりも高い傾向がある。</p> <p>○「授業や日常生活の中の疑問を調べる」割合が全国平均に比べ、大幅に上回っている。</p>	<p>○「学校の勉強が難しくなった」と感じる生徒の割合が20%程度いる。</p> <p>○テストで間違えた問題をやり直すことをしない生徒が20%程度いる。</p>

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<p>○一人1台のタブレット端末を活用し、学習支援アプリでの意見の共有や AI 学習教材での自主学習に、積極的に取り組んでいる。</p> <p>○各生徒が得意とする教科への意欲は高く、すすんで学習する姿が見られる。</p> <p>○校内学習コンテストを実施し、多くの生徒が高得点をとり、基礎的・基本的な学力の定着につながっている。</p> <p>○漢検、英検、数検に取り組む生徒が多く、外部講師を活用した講座を実施し、合格率50%を目指している。</p>	<p>○授業中に自分の考えを積極的に発言するが、探究的な学習になると発言や記述することができない生徒が多い。</p> <p>○どうやったら学習結果がよくなるか考えてから学習を始める生徒が少ない。</p> <p>○学習をしてもできるようにならないときに、自分に合った学習方法を工夫することができない。</p> <p>○各教員が生徒たちの課題を把握し、授業の中で補完できるよう授業内容を組み立てて実践することが必要である。</p>

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 学習の基礎・基本の定着

①基礎・基本定着のための時間設定

既習事項の確認の時間、得た知識を基に説明をする時間、テストの振り返りをする時間を意図的に設け、学びの定着を目指す。また、自分が何を学び、何を身に付けたかの認識を深めるため、一単位時間ごと・单元ごとの振り返りの時間を大切にする。

②個別最適化された学びを実現する ICT の活用

Qubena や Monoxer、ミライシードなどの AI 学習教材を活用し、授業や家庭学習・朝学習などで自由に取り組める時間や機会をつくるとともに、学習履歴を教員が確認し、生徒一人一人に適した励ましやアドバイスをを行い、学習の基礎・基本の定着を目指していく。

③各種学力調査の結果の分析、学力向上プランの作成

学力向上委員会を中心に、各種学力調査の結果の分析を行い、分析結果や生徒の普段の様子をもとに「学力向上を図るための全体計画」を校長が作成する。各教員は「学力向上を図るための全体計画」に基づいて「学力向上プラン」を作成し、授業を実践及び検証し、生徒への学習支援を行う。

(2) 家庭学習の定着

①家庭学習ノートを活用した予習・復習

1日1ページを目標として授業の予習や復習に取り組む「家庭学習ノート」を活用して、自ら課題を見つけ、目的意識をもって学習に取り組む姿勢を身に付けさせる。

②手帳を活用した学習計画づくりの支援

手帳を介した生徒と教員のやり取りを通じ、一日の過ごし方や学習スケジュールの進め方、目標の設定などを助言し、一人一人に合った学習計画の立て方が身に付くように支援していく。

(3) ふり返しシートの活用、校内学習コンテストの実施等

①ふり返しシートと問題データベースの活用

学年・教科ごとに用意された「ふり返しシート」を区で設定した10月と1月から3月末までの期間に加えて、問題データベースを定期考査前にも活用することで、学習内容の定着状況を確認し、個別に支援を行う。

②長期休業期間による個別指導

長期休業中に、希望制の補充学習教室を開設し、個々の学習のフォローアップを行う。

③校内学習コンテストの実施

Monoxer を活用し、校内学習コンテスト(5科)を行う。基礎的・基本的な学力の定着や年間を通して

目標をもち、計画的に学習に取り組む態度の育成を目指す。この取組に対する意欲を高めるため、満点獲得者には満点賞、90%以上の達成率の生徒には高得点賞として表彰を行う。

④検定取得の推奨

漢字検定、英語検定、数学検定の受験を推奨するとともに、外部講師を活用した英検対策講座、数検対策講座を実施する。

3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- 全学年、すべての教科で全国平均との比較で、-5ポイントより高い数値を目指す。
- 各学年各教科において、DE層の割合を35%以下にする。
- AI学習教材を適切に用い、基礎的・基本的な知識の向上を図る。